

第62回全国高等学校陸上競技選手権大会 南九州地区予選会

山本 良磨

6月18日から21日に行われた南九州大会、天草高校からは、女子のリレー、3000メートル障害、400メートルハードル、走り高跳びの4種目、9人の仲間が熊本県代表として出場しました。大会会場は、九州大会独特の雰囲気が出ていて、こんな舞台で競技ができる仲間をとて誇りに思い、またうらやましくもありました。

競技が始まり、選手達の緊張感がひしひしと伝わってきました。競技中はスタンドからの声援がたえません。自分の高校はもちろん、同じ県の選手にも同じような大きな声援がかけられていました。僕たちも声の出る限り叫び続けました。



このとき、陸上競技は色々な人に支えられているんだなと実感しました。普段当たり前のような仲間・家族・先生方の存在への感謝。出場した選手は良い結果を得ることはできなかったけれど、もっと大切な事をたくさん学べたと思います。この経験を生かし3年生は進路に向けて、1・2年生は次の目標に向けて頑張っていきます。

平成21年度第15回九州高等学校文化連盟 美術・工芸・書道・写真展大分大会

岩本 美沙



私は6月19日～21日に大分で開催された書道の九州大会に参加しました。この大会は各県代表10名が参加し、2時間の制限時間の中の創作で作品を仕上げるといったものでした。創作は私にとって初めての挑戦で、ぶつかる壁もたくさんあり、試行錯誤を重ねながら、大会に向けて毎日練習をしました。

本番は、いつもと違う環境でとても緊張しました。私は2時間の中で1枚しか書けなかったけど、その1枚に精一杯の気持ちをこめて書きました。揮毫中は、一書専心の気持ちで無心になって作品を仕上げることが出来ました。結果は奨励賞でしたが、九州大会に参加し精一杯頑張ることができた事を本当に誇りに思っています。

また、これまで毎日熱心に指導して下さいました仲原先生や、全力でサポートしてくれた書道部のみんな、支えて下さったすべてのみなさんに本当に感謝しています。これからは大会で得たものを自分のパワーに変えて今まで以上に充実した書道生活を送りたいです。

第59回全九州高等学校 ハンドボール競技大会

田中美沙紀

6月20日、21日に鹿児島県で九州大会が行われました。私たち3年生にとっては、本当に最後の大会です。この大会での目標は、県総体の決勝、1点差で負けた城北高校を、この九州大会の決勝の舞台で倒すことでした。結果は、準決勝で負けてしまい、3位に終わりました。優勝したのは城北でした。でも最後の試合、みんなで一つになって戦いました。前日の試合で体はボロボロでしたが、ラスト1秒までゴールに向かう姿勢は崩しませんでした。

私たち天高ハンド部の3年生は、幼稚園、小学校からの仲で、部活もずっと同じでした。そんなみんなともう一緒にハンドをすることができないと思うと、とても寂しいです。しかし、これからはそれぞれの進路に向かって歩いていきます。部活で学んだ多くのことを生かし、自分に関わる全ての人々への感謝の気持ちを忘れず、受験に挑んでいきます。ハンドの時のような悔しさを味わう事がないよう、夢に向かって頑張ります。応援して下さいました方々、本当に有難うございました。



第10回全九州高等学校 男子春季ソフトボール大会

濱 優介

僕たち男子ソフトボール部は、5月10日、11日に水俣で開催された九州大会に出場しました。1回戦で優勝候補の長崎県立大村工業高校と対戦し、中盤まで僅差のゲーム展開でしたが、終盤に力尽きてしまい結果的に5対1で敗れてしまいました。しかし、優勝候補と対等な試合ができたという点では、チーム全体の自信とすることができました。その後、3年生最後の大会である高校総体では、準決勝で玉名工業高校に惜しくも敗れてしまいました。3年生は全国大会出場という目標は達成できませんでしたが、3年間この部で培った精神力、忍耐、体力、礼儀面など、これからの人生において必ず役に立つ場面がくると思います。また、苦しい時もつらい時も、共に励まし合い、グラウンドで汗を流した仲間や応援して下さいました周囲の人、そしてどんな遠い場所でも応援に来てくれた親に感謝したいと思います。そして、僕たちの達成できなかった目標をぜひ後輩たちに達成してほしいです。



部活動紹介

部活動成績紹介

- 女子ハンドボール部……【九州大会出場】
- 男子ソフトボール部……【九州大会出場】
- 陸上部
 - 【南九州大会出場】
 - ・4×100mリレー
 - 溝上あゆみ(2年) 濱洲千亜稀(3年)
 - 松原 舞(3年) 堀口 ふみ(3年)
 - 赤木 美穂(3年) 田口 奈穂(2年)
 - ・3000m障害……榎本 大輝(3年)
 - ・走り高跳び……渡邊 隼(2年)
 - ・400mハードル……富崎 慧成(2年)
 - 【九州大会出場】
 - ・1500m……榎本 大輝(3年)
 - ・4×100mリレー
 - 溝上あゆみ(2年) 益田みのり(2年)
 - 小浦 愛美(2年) 小崎 真紀(2年)
 - 水本 絵里(2年) 野崎 琴音(1年)
- 書道部
 - 岩本 美沙……【九州大会出場】

花しょうぶ祭り 茶華道部 早川 茜

私たち茶華道部は、5月31日の花しょうぶ祭りに参加しました。和室のある場所に来て下さった方に和菓子を出し、抹茶を点てました。昨年は生憎雨で、足場も悪かったけれど、今年は晴れていたので作業もスムーズに進みました。今年も私たち2年生は和室でお点前をする機会をいただき、初めてお客さんがいる中での点前でした。やはり最初は、初めてだったのでお湯や抹茶の量が合わなかったり、お点前の道具を落としたりといろいろありましたが、それでも来て下さった方に「とてもおいしい」といっていただけた時は、心からうれしかったです。また、1年生もお茶を出す時の姿勢がいいとお褒めの言葉をいただきました。もっと、たくさん練習して、文化祭の時には上手く点てられるようにしたいです。本当に貴重ないい体験ができたと思います。



天草国際トライアスロン ボランティアから学んだこと

松田 仁美

天草トライアスロンは、私たちの住む美しい天草を舞台に全国各地から競技者が集う。その大会で進行のアシスタントをさせて頂いた。私にとって夢のような時間だった。世界屈指のアスリートを始め競技者は圧巻で、スイムやランのその姿は感動的だった。地元の人々の大声援、天草の中学校の先生方の奮闘も目をひいた。それらの状況を臨機応変に場を読み、巧みな話術で大会を盛り上げていかれるプロのアナウンサーに私は魅せられ大変感銘を受けた。競技中何度も私にコメントを求められた。競技者の熱い思いと応援者の一体感、天草の良さを表現したくて必死だった。大会終了後、アナウンサーの方やスタッフの方々と話す機会があった。人との出会いは、また多くの事を学べるのだと思った。一つのことを皆で作る楽しさを実感した。この様に素晴らしい経験をさせて頂き感謝の気持ちで一杯である。志望校合格を第一とし、経験値を高め人間力を養いたい私は思う。



あいさつ運動

生徒全体では、常にあいさつができた割合は62.7%、クラス別では、第1位が1年7組で71.3%

上段:人数(名) 下段:割合(%)

	1年合計 270名			2年合計 280名			3年合計 277名			総合計 827名		
	できた	ときどきできた	できなかった	できた	ときどきできた	できなかった	できた	ときどきできた	できなかった	できた	ときどきできた	できなかった
家庭内で	136 50.4	97 35.9	37 13.7	145 51.8	103 36.8	32 11.4	135 48.7	112 40.4	30 10.8	416 50.3	312 37.7	99 12.0
通学途中や地域で	90 33.3	129 47.8	51 18.9	103 36.8	125 44.6	52 18.6	95 34.3	140 50.5	42 15.2	288 34.8	394 47.6	145 17.5
授業始業・終業時に	211 78.1	56 20.7	3 1.1	174 62.1	95 33.9	11 3.9	195 70.4	76 27.4	6 2.2	580 70.1	227 27.4	20 2.4
校内で友人・先輩・先生・外来者に対して	207 76.7	63 23.3	0 0.0	188 67.1	87 31.1	5 1.8	205 74.0	70 25.3	2 0.7	600 72.6	220 26.6	7 0.8
職員室の入室退出時	245 90.7	21 7.8	4 1.5	231 82.5	35 12.5	14 5.0	234 84.5	37 13.4	6 2.2	710 85.9	93 11.2	24 2.9
合計	889 65.9	366 27.1	95 7.0	841 60.1	445 31.8	114 8.1	864 62.4	435 31.4	86 6.2	2594 62.7	1246 30.1	295 7.1

「二十一世紀の能力」 悪戦苦闘能力を身につけよう

育友会長 渡邊 英人

このタイトルは、去る六月四日に熊本交通センターホテルで開催された、熊本県公立高等学校PTA連合会定期総会での講演の演題です。講師は、九州ルーテル学院大学客員教授の大畑誠也先生でした。

大畑先生は、挨拶教育で実績を残したことで有名な方で、二十一世紀の最大の課題は人間関係であり、これからの社会で求められるのは「人間力」総合力であること、そしてこのことを「悪戦苦闘能力」と呼んでいると、パワフルな話術で数字を際立たせて示して、実際に説得力のある楽しいお話でした。ぜひ、皆さんも機会がありましたら聴講されたいかがかと思えます。

大畑先生は、「悪戦苦闘能力」を身につけるためには、①挨拶、②体力、③感性、④集中、⑤思考の五つのポイントがあり、その中でも最も大切なものが挨拶ご協力をよろしくお願い致します。

であると話されました。挨拶の習慣を身につければ対人能力が高まり、他の項目も必然と向上していきからです。挨拶が良くなると、家庭や地域住民、来訪者からの評判も良くなり、「挨拶が良い」学校が明るくなった「活気があふれる」といわれるようになり、部活や進路達成にも大きな成果を上げたとのことでした。育友会では、今年度、挨拶運動に積極的に取り組むこととし、登校時の挨拶運動や、大畑先生の実践を参考にしたアンケート調査を実施しました。結果は右表のとおりです。今後、二学期、三学期においても挨拶運動及びアンケート調査を行います。ぜひ、三学期には、九十以上の挨拶実践率となることを願っています。挨拶は一時的な運動で終わるのではなく、継続実行し、習慣にしていくことが大切です。ご家庭でも、

●生徒全体では、常にあいさつができた割合は62.7%でした。項目別では「職員室の入室」が最も多く85.9%、次に「校内で友人・先輩・先生・外来者に対して」が72.6%、「授業の始業時・終業時」が70.1%、「家庭内」が50.3%、最も少ないのが「通学途中や地域」が34.8%でした。
●学年別で見ると、1年生が最も良く65.9%、次に3年生が62.4%、2年生が60.1%の順となっています。
●クラス別では、第1位が1年7組で71.3%、第2位が1年4組の68.7%、第3位が1年5組の67.2%、第4位が3年7組と1年6組の67.0%でした。
3学期までには、全クラスが100%に近づいてほしいものです。特に、家庭や地域でのあいさつに力を入れて取り組みましょう。